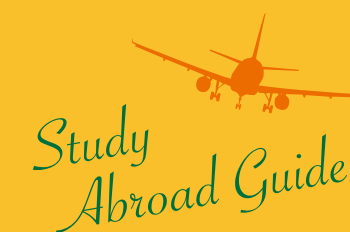


2023年度新潟大学 海外留学ガイド



留学情報はここでCheck!

新潟大学の海外留学プログラムや留学奨学金の募集等について最新情報を確認できます。

新潟大学 国際交流・留学 ホームページ
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/>

新潟大学 国際交流・留学 Facebookページ
▶ <https://www.facebook.com/niigata.univ.intl/>



ホームページ



Facebook

留学相談窓口はどこ?

五十嵐キャンパス内の留学交流推進課で、留学カウンセラー資格を持つ職員が皆さんからの相談をお待ちしています。電話やメールでの相談も可能です。

新潟大学学務部留学交流推進課 派遣留学係
五十嵐キャンパス内 総合教育研究棟 D 棟 3 階
TEL: 025-262-7332 / 7631 / 6797
E-mail: studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp

お問い合わせ



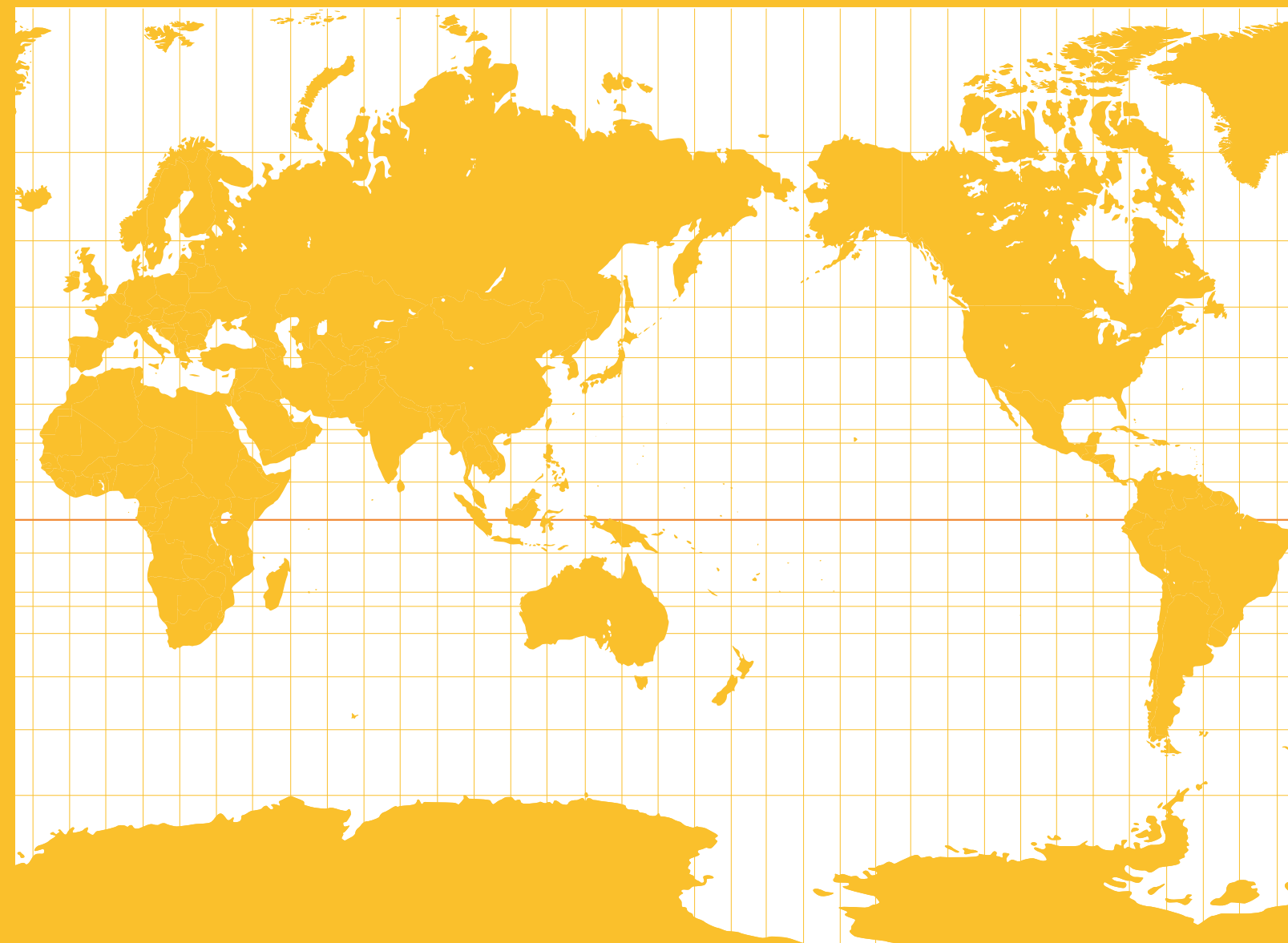
新潟大学学務部留学交流推進課
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
TEL: 025-262-7332

※このパンフレットの掲載情報は2022年12月現在での情報であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響や研修先の都合等により変更となる場合があります。

2023年1月発行



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



CONTENTS

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、掲載情報に変更が生じる場合があります。

- | | | | |
|-----|--|-------|---|
| 2-3 | 新潟大学の留学制度について | 13 | ◇シンガポール・スプリングセミナー
◇オックスフォード大学スプリングセミナー |
| 4-5 | 海外留学フローチャート | 14 | ◇西シドニー大学国際交流プログラム
オンラインプログラムについて |
| 6 | 海外留学に向けて | 15 | STEP2 専門分野プログラム |
| 7 | 2023年度 留学関連年間スケジュール | 16-17 | STEP3 交換留学 |
| 8-9 | STEP1 ショートプログラム | 18-19 | 留学の奨学金について |
| 10 | ◇北京サマーセミナー
◇韓国サマーセミナー | 20-21 | 留学の安全・危機管理について |
| 11 | ◇カナダ・サマーセミナー
◇オタゴ大学英語研修 | 22-23 | 留学体験談 |
| 12 | ◇オーストラリア多文化共生社会体験プログラム
◇フィリピンALLC英語研修 | | |



新潟大学の留学制度について

短期から長期に段階的につなげる留学プログラムを提供しています

新潟大学では、留学の目的や学習段階に応じて、留学の機会を幅広く提供しています。より多くの学生に国際経験の場を提供するために、海外が初めてでも参加しやすい「ショートプログラム」から、海外で各学部での専門分野を短期間学ぶ「専門分野プログラム」、さらには1学期間または2学期間の「交換留学」へと、段階をおって留学できるプログラムを用意しています。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によって、実施中止・延期となる場合や、オンラインプログラムに変更となる場合があります。

STEP 1 ショートプログラム

▶ 1週間から5週間程度

まずは留学を体験してみよう！

語学研修・異文化体験等を目的とした、全学部の学生を対象としたプログラムです。海外の大学の学生寮に滞在したり、ホームステイをして現地のファミリーと交流したり、海外の生活や異文化に触れることができます。

(例)



北京サマーセミナー



カナダ・サマーセミナー



シンガポール・スプリングセミナー



オックスフォード大学スプリングセミナー

こんな学生に
オススメ！

- 海外に行ってみたい
- 語学を集中的に学びたい
- 異文化に触れてみたい

STEP 2 専門分野プログラム

▶ 1週間から数か月

海外で専門分野を学ぼう！

各学部で用意している、それぞれの専門分野を学ぶためのプログラムです。たとえば、海外の医療現場で臨床研修を経験したり、企業でのインターンシップを経験したり、各専攻に合わせたプログラムが組まれています。

(例)



スリランカでの海外研修(理学部)



ハノイ医科大学病院
歯科見学
(歯学部・ベトナム)



夏の学校プログラム
(工学部・ドイツ)



グローバル農力
養成プログラム
(農学部・トルコ)

こんな学生に
オススメ！

- 海外で専門分野の実習をしたい
- 同じ分野を学ぶ海外の学生と交流したい
- 国際会議で発表したい

STEP 3 交換留学

▶ 1学期間または2学期間

本格的に外国語や専門分野を学ぼう！

世界中の大学との間で結ばれた交流協定にもとづき、海外の協定校で交換留学生として外国語や専門科目を学ぶ制度です。留学先では、現地の学生や世界各国からの留学生とともに学ぶことができます。

(例)



仁荷大学(韓国)

ロードアイランド大学
(アメリカ)



ミュンスター大学
(ドイツ)



ナント大学
(フランス)



シドニー工科大学
(オーストラリア)



北京大学(中国)

こんな学生に
オススメ！

- 飛躍的に語学力をアップさせたい
- 専門分野への理解をさらに深めたい
- 留学経験を将来に活かしたい

よくある質問

Q. 1週間のプログラムでも、語学力は伸びますか？

A. 日本で接する外国の方は、日本人が話す外国語に慣れています。海外ではなかなか理解してもらえないことも。実際に現地の人と触れ合うことで、理解し合うためにはどのようなことが必要なのかを体感し、コミュニケーションとは何かについて考えるきっかけとなります。1週間での飛躍的な語学力向上は難しいですが、生きた外国語に触れる貴重な経験となります。また、それ以降の学習のモチベーションが高まる、日本との文化の違いを知るきっかけになるなど、語学力以外にも得られるものがたくさんあります。

Q. ショートプログラムや専門分野プログラムに参加しないと、交換留学には行けないのでしょうか。

A. 交換留学が初めての留学という方もいらっしゃいますが、ショートプログラム等への参加を経て、交換留学などより長期の留学を実現する方が多いです。短期間の留学を経験することで、まず「留学とはどういうことか」が実感でき、その後の学習へのモチベーションが高まります。また、ここ数年はオンラインによるショートプログラムに参加して英語力を身に付け、交換留学に挑戦する方も増えています。初めての海外に不安を感じている方は、現地派遣型のショートプログラムへの参加を、普段の生活と両立しながら交換留学に向けた準備をしたい方は、オンラインショートプログラムへの参加をお勧めします。

Pick Up!

オンラインプログラム

オンラインで世界と繋がろう！

日本にいながら、オンラインツールを使って海外の大学等の授業に参加できるプログラムです。オンラインを通して語学や専門分野について集中的に学べ、他国の学生との国際交流を経験できる。実際に海外に渡航する前の準備としても活用できます。



西シドニー大学
国際交流プログラム

こんな学生に
オススメ！

- 海外の大学の授業に参加してみたい
- 普段の生活と両立させたい
- できるだけ費用を抑えて参加したい
- 中・長期留学に向けて準備をしたい

体験者の声

創生学部 森本 瑞貴 さん

2021年2月 西シドニーオンライン国際交流学習
2022年8月～11月 シドニー工科大学交換留学

入学前から交換留学を考えており、留学に繋がるよう大学での授業をデザインしてきました。日頃からFL-SALCでスピーキング対策をする他、ビジネスコミュニケーション、4技能や発音を鍛える授業の履修等、英語に触れる環境に身を置くことを意識しました。また、留学生のチューターとして半年間、レポートの日本語添削や文化紹介に取り組んだ経験から、多様な国の学生との学びに更に意欲が湧きました。長期留学へのファーストステップとして、夏休みに渡航型のショートプログラムに参加したかったのですが、新型コロナウイルスの影響で、現地派遣型のプログラムが中止されたため、西シドニー大学のオンラインプログラムに参加しました。ここでは、キャリアやオーストラリア文化、SDGsについて集中的に英語で学ぶことができました。このような積み重ねもあり、語学要件をクリアし、交換留学へ挑戦することができました。

シドニー工科大学への交換留学中は、オーストラリア言語文化課程コースで自然環境や歴史を学びつつ、レポート作成やプレゼンテーションに取り組みました。予習は、学内サイトにアップされた翌日の授業資料から内容を把握し、復習では、授業資料を見返し、会話で使えるような表現を増やしていきました。ディスカッション中心の授業では発言の機会が多いため、間違いを恐れず自分から伝えようとする姿勢が養われたと感じています。現地では日課として、ノート1ページ分の日記を書くこと、英語での独り言動画を記録し、スピーキング向上に役立てることを徹底しました。もちろんテストのために英語を学ぶことも大切ですが、それ以上に、コミュニケーションツールの一つだということを忘れず、英語習得に取り組むことが大事だと思います。

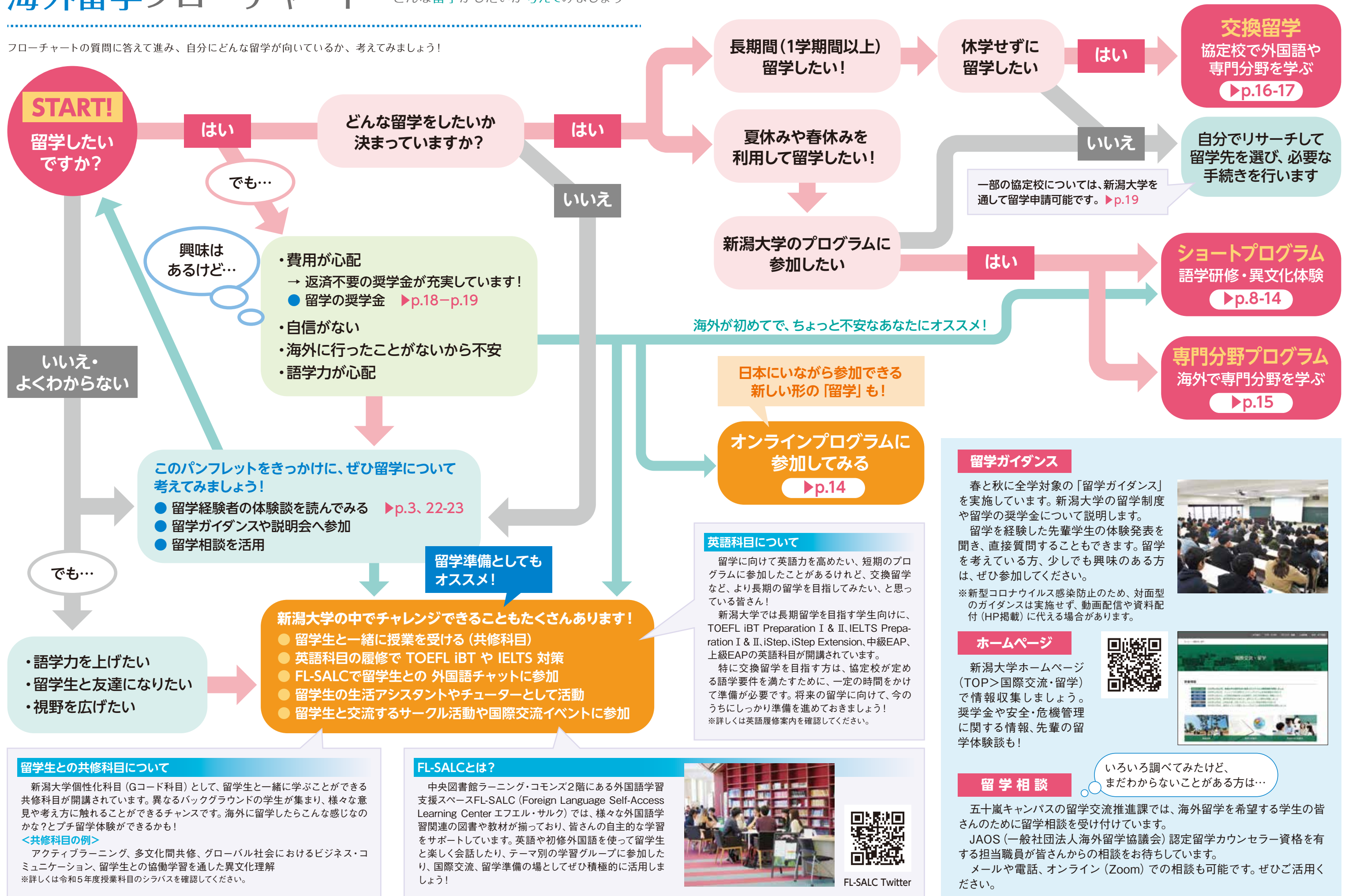


フェリーからオペラハウスの前で

海外留学フローチャート

～どんな留学がしたいか考えてみましょう～

フローチャートの質問に答えて進み、自分にどんな留学が向いているか、考えてみましょう！



海外留学に向けて

～在学中に短期留学も交換留学も実現したい！～

※あくまでも一例ですので、この限りではありません。

年 次				項 目	内 容
1年次	2年次			留学情報収集	●留学ガイダンスや募集説明会に参加し、情報を得る。 ●国際交流・留学ホームページにアクセス ▶ https://www.niigata-u.ac.jp/international/ ●(独)日本学生支援機構(JASSO)の「海外留学支援サイト」や、各国大使館のホームページで、留学情報や奨学金の情報を得る。 ▶ JASSO海外留学支援サイト (https://ryugaku.jasso.go.jp/) ▶ JASSO留学ガイドブック「私がつくる留学」(https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/guidebook/) ▶ 駐日外国公館ホームページ(https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/embassy.html)
				留学計画	●留学交流推進課の留学相談を利用 ●先生や先輩、家族に相談 ●夏休みに、大学主催のショートプログラム・オンラインプログラムに参加してみる。 ●交換留学学内選考に向け、準備を開始する。特に、必要な語学能力試験の受験準備は早めに開始! ●所属学部・研究科で、交換留学した場合の単位認定が可能かどうか、また、卒業までの学習計画を相談する。 ●FL-SALC(中央図書館内)で留学生との外国語チャットに参加したり、留学生の生活アシスタントやチューターを経験したりするなど、色々な活動にチャレンジする。 ●留学奨学金について情報収集し、申請を行う。
				留学のタイミングは人それぞれですが、早めの計画で選択肢が広がります。まずは1年生のうちに留学をオススメ!	
1年次	2年次	3年次		交換留学学内募集への応募	開始時期により募集時期が異なるので、注意が必要。留学ガイダンスへの参加、留学交流推進課や各学部・研究科窓口で、常に最新情報を得ておく。 (参考)留学交流推進課が募集している大学間交流協定校の募集時期 8～9月開始の場合 → 前年10～11月頃に募集 2～3月開始の場合 → 前年6～7月頃に募集
				交換留学準備	●留学手続きオリエンテーションへの参加 ●新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金)申請 ●協定校への出願 ●所属学部・研究科へ留学申請書を提出 ●旅券(=パスポート)・査証(=ビザ)の取得 ●渡航前オリエンテーションへの参加 など
				交換留学開始	留学先大学へ出発
	2年次	3年次	4年次	帰国後	●単位認定の申請 ●留学体験談の執筆、留学体験発表 など



2023年度 留学関連年間スケジュール

※現時点(2022年12月現在)での予定であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響、研修先の都合等により変更になることがあります。詳細が決まり次第、「国際交流・留学」ホームページに掲載しますので、定期的にご確認ください。

月	留学ガイダンス等	ショートプログラム ※学部を問わず参加可能なプログラムについて掲載しています。	大学間交流協定校への 交換留学	留学奨学金
4	留学ガイダンス・留学体験発表会 (4月上旬～中旬) まずはガイダンスに参加してみよう!	夏季ショートプログラム募集説明会 (4月中旬～下旬)	GW明けに締切のプログラムも。申込みのチャンスを逃さないようスケジュールをチェックしよう!	○交換留学等を対象としたセメスター留学奨学金については、交換留学の募集説明会で詳しく説明します。 ○ショートプログラム等で利用可能な奨学金については、HPや各プログラムの募集説明会で確認してください。
5		夏季ショートプログラム参加申込期限 (5月上旬～下旬)		新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 ※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。
6		第2タームに参加可能なショートプログラム実施 (6月中旬～8月中旬) ※募集・申込みは前年度の1～2月頃。他の授業に支障がないことを十分確認の上、申し込んでください。	2024年春派遣生の募集開始・募集説明会	
7	海外渡航前安全管理オリエンテーション		2023年秋派遣生向け渡航前オリエンテーション	
8		夏季ショートプログラム実施 (8月上旬～9月下旬)	2023年秋派遣生順次、留学開始	
9			2024年春派遣生向け留学手続きオリエンテーション	
10	留学ガイダンス・留学体験発表会 (10月上旬～中旬)	春季ショートプログラム募集説明会 (10月上旬～下旬)		
11		春季ショートプログラム参加申込期限 (10月下旬～12月上旬)	2024年秋派遣生の募集開始・募集説明会	新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 ※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。
12	海外渡航前安全管理オリエンテーション			トビタテ! 留学JAPAN新・日本代表プログラム 募集開始・学内募集説明会
1			2024年春派遣生向け渡航前オリエンテーション	中国政府奨学金 (駐新潟総領事館推薦) 学内応募締切
2			2024年秋派遣生向け留学手続きオリエンテーション	トビタテ! 留学JAPAN新・日本代表プログラム 学内応募締切
3		春季ショートプログラム実施 (2月中旬～3月下旬)	2024年春派遣生順次、留学開始	新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) 学内応募締切 ※交換留学等により1学期以上留学することが決まっている学生が対象。各学部学務係で書類提出期限を確認してください。

STEP 1

ショートプログラム

◆学部を問わず参加可能なショートプログラム一覧◆

ここに掲載しているプログラムは、学部を問わず、全学部の学生が申し込み可能なプログラムです。
学部・研究科で実施するプログラムで当該学部・研究科所属学生のみが対象となるものについては、
各学部・研究科学部係にお問い合わせください。

- プログラムの実施日程や内容は2022年12月現在の予定です。2023年度は新型コロナウイルス感染症等の影響により、実施中止・延期の可能性はあるほか、実施内容が変更になる場合があります。
- 記載されている参加費の目安は、新型コロナウイルス感染拡大前の過去の実績や見積もりに基づく金額です。2023年度実施時には、新型コロナウイルス感染拡大や為替レート、その他の影響により変更になる可能性があります。

一定の要件を満たす方は、**返済不要の奨学金**を受給することができます(プログラムにより人数上限あり)。奨学金についての詳しい情報は **p.18**—**p.19** へ!

実施元	プログラム名	研修先国・地域	研修先大学等	実施予定期間 (2023年度)※1	募集開始時期(予定)	申込締切(予定)	募集定員	単位付与・認定	参加費用の目安※2	奨学金 (要件あり)	概要	問い合わせ先
夏季実施プログラム(予定)												
国際センター	北京サマーセミナー	中国	北京師範大学	8月上旬～9月上旬 (約4週間)	4月	5月中旬	募集説明会にて確認してください	有	募集説明会にて確認してください	6万円	➡詳細について、 p.10 で紹介!	学務部 留学交流 推進課
	韓国サマーセミナー	韓国	漢陽大学	8月上旬～8月下旬 (約3週間)	4月	5月下旬	15名程度	有	28万円程度	7万円	➡詳細について、 p.10 で紹介!	
	カナダ・サマーセミナー	カナダ	アルバータ大学	8月中旬～9月下旬 (約5週間)	4月	5月中旬	30名程度	有	60万円程度	8万円×2回	➡詳細について、 p.11 で紹介!	
	オタゴ大学英語研修	ニュージーランド	オタゴ大学	8月下旬～9月下旬 (約5週間)	4月	5月下旬	15名程度	有	53万円程度	7万円×2回	➡詳細について、 p.11 で紹介!	
	西シドニー大学国際交流プログラム	オーストラリア	西シドニー大学	8月～9月(オンライン研修2週間+現地研修2週間)	4月	5月下旬	20名程度	有	募集説明会にて確認してください	7万円	➡詳細について、 p.14 で紹介!	
人文学部	マグデブルク大学ドイツ語研修	ドイツ	マグデブルク大学	7月下旬～8月中旬 (約3週間)	4月	5月中旬	1名	一部有	募集説明会にて確認してください	8万円	協定校が提供するインターナショナル・サマーコースに参加、さまざまな国の学生とともにドイツ語を学ぶ。	人文学部
	ビーレフェルト大学ドイツ語研修	ドイツ	ビーレフェルト大学	8月上旬～8月下旬 (約4週間)	4月	5月中旬	6名	一部有				
理学部	オーストラリア・カーティン大学英語研修	オーストラリア	カーティン大学	8月下旬～9月上旬 (約3週間)	4月	5月下旬	15名程度	一部有	50万円程度	7万円	世界中から集まる留学生と共に学ぶ短期集中英語研修。ホームステイで生きた英語とオーストラリア文化を学ぶ。	理学部
外部	Campus France (フランス政府留学局) ※短期留学プログラム 夏季セッション ※フランスの高等教育機関への留学推進、留学生受け入れ支援、国際学術交流のためのフランス政府公式機関	フランス	サン＝ティエンヌ大学、グルノーブル大学等の大学付属語学センター	8月～9月 (約4週間)	4月	5月	特になし	一部有	(参考)2020年夏(中止)プログラム費用: 学生寮滞在の場合 2,200ユーロ、 ホームステイの場合 2,600ユーロ (往復航空券代等は含まない)	8万円	フランス語研修の他、各種アクティビティへの参加。宿泊についてはホームステイか学生寮を選択可能。	学務部 留学交流 推進課
春季実施プログラム(予定)												
国際センター	オーストラリア多文化共生社会体験プログラム	オーストラリア	クイーンズランド工科大学	2月中旬～3月中旬 (約5週間)	10月	11月上旬	20名程度	有	54万円程度	7万円×2回	➡詳細について、 p.12 で紹介!	学務部 留学交流 推進課
	フィリピンALLC英語研修	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	2月中旬～3月下旬 (約5週間)	10月	11月上旬	10名程度	有	25万円程度	7万円×2回	➡詳細について、 p.12 で紹介!	
	シンガポール・スプリングセミナー	シンガポール	東南アジア教育大臣機構等	2月下旬～3月上旬 (約10日間)	10月	11月上旬	20名程度	有	28万円程度	10万円	➡詳細について、 p.13 で紹介!	
	オックスフォード大学スプリングセミナー	イギリス	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	3月中旬～3月下旬 (約2週間)	10月	11月上旬	20名程度	有	57万円程度	8万円	➡詳細について、 p.13 で紹介!	
理学部	日台学生交流ショートプログラム・台湾スプリングセミナー	台湾	中原大学、国立清華大学、国立彰化師範大学、国立台湾師範大学、国立成功大学	2月～3月 (約4～5週間)	10月	11月下旬～12月上旬	16名程度(派遣先により異なる)	有	15～25万円程度 (派遣先により異なる)	6万円×2回	平成20年度から毎年継続して実施。台湾の5つの大学の中から1か所を選び4～5週間の語学研修・台湾文化体験ができる。場合によって、オンライン授業の可能性もあり。	理学部
外部	Campus France (フランス政府留学局) ※短期留学プログラム 春季セッション ※フランスの高等教育機関への留学推進、留学生受け入れ支援、国際学術交流のためのフランス政府公式機関	フランス	サン＝ティエンヌ大学、グルノーブル大学等の大学付属語学センター	2月下旬～3月下旬 (約4週間)	10月	11月中旬	特になし	一部有	(参考)2023年春プログラム費用: 学生寮滞在の場合 2,100ユーロ、 ホームステイの場合 2,500ユーロ (往復航空券代等は含まない)	8万円	フランス語研修の他、各種アクティビティへの参加。宿泊についてはホームステイか学生寮を選択可能。	学務部 留学交流 推進課
第2ターム実施プログラム(予定)												
国際センター	オーストラリア多文化共生社会体験プログラム(第2ターム実施)	オーストラリア	クイーンズランド工科大学	6月中旬～7月下旬 (約5週間)	1月	2月上旬	20名程度	有	54万円程度	7万円×2回	春季に実施しているプログラムの第2ターム版。現地家庭にホームステイしながら、オーストラリア文化について学び、多文化共生について理解を深める。	学務部 留学交流 推進課
	韓国・仁荷大学サマースクール(第2ターム実施)	韓国	仁荷大学	7月下旬～8月中旬 (約3週間)	1月	2月下旬	15名程度	有	24万円程度	7万円	大学間交流協定校である仁荷大学のインターナショナル・サマースクールに参加。研修は英語で行われ、「英語も韓国語も」学ぶことができる。	

◆過去に実施したプログラムの募集要項等については、「新潟大学 国際交流・留学」HPで確認できます。
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/short-term/>



- ※1 本学の授業期間や試験期間に実施日程が重なるプログラムへの申込にあたっては、授業等に支障のないことを必ず確認してください。
- ※2 特に注意書きのない場合、参加の目安の金額には往復航空券代、宿泊費、現地での授業料(プログラム参加費)を含みます。パスポート取得にかかる費用、保険や危機管理サービスにかかる費用、国内旅費、小遣い等は別途必要になります。



北京サマーセミナー

達成目標

- 実践的な中国語のコミュニケーション能力を高める!
- 友達を作って、中国語で語り合う!
- 社会、人、文化に肌で触れて、生きた中国を知る!

実施期間: 8月上旬～ 9月上旬 約4週間(予定)

滞在: 北京師範大学学内留学生宿舎

担当教員から一言

(干野真一准教授・真水康樹教授)

国際社会における重要性がますます高まっている中国語には、「漢字を使うので学びやすい」、「中国の発展に伴う国際的需要の急増」、「悠久の歴史を持つ漢字文化圏のルーツを理解する」等のメリットがあります。

「綺麗なマンダリン(北京語)ですね」と言われるのは、中国語を話す者にとっては最高の褒め言葉と言えるでしょう。その響きは、「素敵なクイーンズ・イングリッシュですね」と言われるのに通じるものがあります。800年の首都・北京という最高の環境で中国語を学びましょう。現地滞在中のすべての期間を引率教員が同行し、生活を共にするため、現地での生活面や中国語の学習面で、必要に応じてきめ細かく助言を行います。さらに研修前後に実施する学力測定により、長期的な観点からの学習指



やる気のある人だけのクラスだから、効果的!

導も行います。本研修は、Gコード科目の6単位に認定されます。この「北京サマーセミナー」は過去、26年にわたって実施されてきたものです。過去の参加者はのべ400人を超えるプログラムで、セミナー参加者の中から、北京大学をはじめとした中国の大学への長期留学を実現しています。中国語をモノにしたいという諸君の参加を歓迎します。

ここがオススメ! (参加学生の声)

◎短期間で集中してネイティブの先生の質の高い授業を受けることができたことが一番充実していたように思う。自分から中国語を使おうという姿勢を作ることができたことを誇りに思う。

◎週末には歴史的建造物を見学して、中国の文化に触れ、自由行動では、実際に店員さんと中国語で会話をするなど、存分に中国を感じる事ができた。

◎中国語力はほとんどゼロだったが、授業や食事時の会話などで話す機会が多かったため一カ月の間に見違えるくらい話せるようになり、発音も上達した。また、周りからの支えを受けつつ自律して生活できたのでメンタル面を鍛える良い機会となった。



韓国サマーセミナー

達成目標

- 少人数の韓国語授業で実践的な韓国語力UP!
- 韓国の文化について学び、理解を深める

実施期間: 8月上旬～下旬 約3週間(予定)

滞在: 漢陽大学学生寮

担当教員から一言

(藤石貴代准教授)

新潟から2時間で行ける「一衣帯水」の隣国。韓国と日本は文化・経済・政治的に関係が深く、距離的にも心理的にも「近くて近い国」になれるはず。韓国人の勤勉さ、前向きで積極的な人生への態度や人間関係、何より親切(おせっかい?)で人懐っこい「情」の世界には、「空気を読む」日本的コミュニケーションと正反対の解放感と人間味があふれています。食べ物も美味しい。引っ込み思案のあなたにもきっと勇気と元気を与えてくれることでしょう。日本語と韓国語は語順同じ、語彙も同じ漢字語が多く、文字と発音規則さえ習得すれば、外国語のなかでも私たちが最も学びやすい言語です。言葉を知ることとは心を知ること。何はともあれ「百聞は一見に如かず」。この機会にぜひ韓国を体験してみてください。きっともう一度(以上)、行きたくなくなります。

韓国プログラムのここがオススメ!

このプログラムの大きな魅力は、①熟練した韓国語教師によるダイレクト・メソッド(日本語を一切使わない)の韓国語授業、②充実した韓国文化体験プログラム、③漢陽大学現役学生によるチューター制度(トウミ制度)です。特に、チューターからは学習面、生活面の両方においてサポートを受けられ、プログラム参加学生に大変好評です。

交換留学制度による1～2学期間の本格的な留学を考えている学生におすすめるプログラムです。

3週間の現地滞在を通して、インターネットやテレビで知る情報とは異なる、韓国人の生活や考え方に触れることができるでしょう。



漢陽大学にて

研修内容

中国の首都・北京にある北京師範大学で集中的に中国語を学ぶプログラムです。4週間で合計80時間程度の学習カリキュラムにより、着実に中国語の運用能力(特に、聞く・話すスキル)を向上させることができます。クラスは能力別に編成された10名以下の少人数制で、新潟大学の学生のために開設される特別クラスです。外国人に中国語を教える知識と経験を豊富に持つネイティブ教員が担当し、日本語を使わないダイレクトメソッドで講義が行われます。さらに、歴史文化や経済分野についての多様な研修が含まれます。週末には、故宮や万里の長城を訪れて悠久の歴史と文化に触れ、さらに京劇鑑賞や下町散策を通じて魅力あふれる北京を堪能します。JETRO北京事務所を訪問し、中国の最新経済事情についてのレクチャーを受ける機会もあります。

研修先について

北京師範大学(Beijing Normal University)

1902年に設立された京師大学堂師範館を前身とする中国国内における教育分野のトップ大学です。100年以上の歴史を

持ち、教育分野で数多くの人材を輩出しています。校訓は「学為人師、行為世範(学びて世の人の師となり、行いて世の人の範となる)」です。留学生向け中国語教育のプログラムも充実しており、快適な留学生寮を備えています。また、北京市内の散策にとっても便利な新街口というエリアに位置しています。

スケジュール

- 月～金 中国語語学研修(午前4H、午後2H)
- 万里の長城、故宮、盧溝橋等を見学
- 京劇鑑賞・下町散策
- JETRO北京事務所訪問
- 期間終盤に、北京近郊都市への小旅行



小旅行では気分も晴れやか(承徳)

研修内容

漢陽大学のソウルキャンパスで韓国語と韓国文化を学ぶ、3週間集中のサマースクールです。韓国語の授業は、初級から上級までレベル別に分けられた少人数クラスで受講します。また、漢陽大学の現役学生がチューターとなる韓国語チュータリングにより、韓国語授業では教えてもらえない言葉などを教えることができます。その他、韓国の伝統文化に触れる韓服着付け・茶道体験、伝統舞踊授業、韓国の今がわかる韓流体験トリップなどに参加します。

研修先について

漢陽(ハニャン)大学

1939年に東亜工科学院として設立され、建国技術学院、漢陽工科大学を経て1959年に漢陽大学校となりました。現在ソウルと安山にキャンパスを構えています。校訓は「愛の実践」、シンボルは「獅子」。韓国有数の名門大学であり、特に工学分野が有名です。政財界、芸能、スポーツ界などにも多くの著名人を輩出しています。ソウルキャンパスは、大学構内に地下鉄駅が乗り入れている(2号線「漢陽大1駅」)な

ど、交通至便です。新潟大学と漢陽大学は、2009年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

スケジュール

※漢陽大学の都合により、セミナー開始日が新潟大学の第1学期試験期間中となる可能性があります。日程は確定次第ホームページに掲載します。申込みの際には、試験に支障のないことを必ず確認してください。

- 月～土 (午前)韓国語授業(午後)韓国語チュータリング
- Special Activity(文化体験)にも参加します。



韓服(ハンボク)を着て記念撮影



韓国料理実習(トッポギとチジミ)

カナダ・サマーセミナー

達成 目標

- カナダの歴史と文化について学ぶ
- リスニング、スピーキングを鍛えて英語の総合力をUP!
- ホームステイにより異なる文化に対する理解を深める

実施期間：8月中旬～9月下旬 約5週間(予定)

滞在：大学構内または隣接の宿舍・ホームステイ

担当教員から一言

(ハドリー・浩美准教授)

新潟大学とアルバータ大学は1995年に交流協定を結び、今までに約500名の新大生がこのサマーセミナーに参加しました。この機会を長期の留学に結びつけた先輩も少なくありません。

英語研修はレベル別クラスに分かれて行われ、授業ではグループディスカッションやプレゼンテーションなどに能動的に参加することが求められます。英語学習アクティビティにも参加して、他国の学生との交流を深めましょう。さらに、文化施設見学等の課外活動が予定されており、授業の予習・復習、毎日の課題をこなしていると、あっという間に1日が終わります。

セミナー期間中は、アルバータ大学の学生が新大生のグループリーダーとなり、「English Only Policy」により、生活上のケア・連絡事項などをすべて英語で行います。日本以外の国から来ているクラスメイトとの交流や宿舍・ホームステイ先での生活など、この海外体験はきっと忘れられない思い出になり、視野も大きく広がるはずです。

カナダプログラムのここがオススメ!

アルバータ大学のあるエドモントン市は、都会でも田舎でもなく比較的治安の良い街です。このプログラムでは、「宿舎での共同生活」と「ホームステイ」の両方を体験することができます。

カナダでの生活に慣れるため、冒頭で学生寮または大学周辺の宿舎に滞在します。寝食を共にしながら、共有スペースのラウンジ等で一緒に宿題や情報交換、新大生同士だけでなく他大学の参加者や諸外国からの留学生との交流も広がります。

その後、各家庭に1～3人ずつホームステイをします。郊外の住宅地からバスや電車で通学し、日本とは異なる生活習慣や食事を体験することで、多文化社会であるカナダでの暮らしを実感して、より理解が深まるでしょう。

カナディアンロッキーツアーでは、雄大な自然に囲まれたバンフ国立公園を訪れ、ハイキングやカヌーでアウトドアに親しみ、リゾート地の中心街でのショッピングなどを満喫することができます。

研修内容

アルバータ大学教育学部English Language Schoolの英語研修プログラムを受講します。TESL (Teaching English as a Second Language)を専門とする講師による英語研修は、少人数制で丁寧な指導。市が誇るエドモントン公園や州議会を訪れたり、週末にはロッキー山脈へハイキングに行ったりと、課外活動も充実しています。

研修先について

アルバータ大学

カナダ中西部、アルバータ州の州都エドモントンにある1908年創立の大規模総合大学です。カナダ国内外で高い評価を得ており、約4万人の学生が学んでいます。メインキャンパスは市街地にあって利便性が高く、快適な環境で学ぶことができます。



初めての乗馬体験

スケジュール

月～金：英語研修
文化・社会・歴史施設の見学等
カナディアンロッキーツアー (2泊3日)



授業風景



カナディアンロッキーの雄大な自然

オタゴ大学英語研修

達成 目標

- 英語の4技能を集中的に鍛え英語の総合力をUP!
- ニュージーランドの文化について学び、理解を深める!

実施期間：8月下旬～9月下旬 約5週間(予定)

滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(ハドリー・浩美准教授)

本研修に参加したみなさんの声を紹介します。まず英語研修に関しては、内容がよかった、スピーキング能力が上がった、人前で話すことに慣れた、英語学習に対するモチベーションに変化があった、IELTSクラスは難しかったが次第に慣れた、といった感想がありました。授業外では、他国の学生と出かけて英語を使った、ホームステイ先で返答する努力を続けることでコミュニケーションがとれるようになった、豊かな自然に囲まれて毎日新しい体験ができた、とのことでした。さらに帰国後は、積極的になったことを実感した人や、長期留学を目指すようになった人もいます。ただ、出発前に英語の基礎力をつけて、現地では実践に集中すべきだったという反省も少なからず見受けられたので、参考にしてください!

オタゴ大学英語研修のここがオススメ!

オタゴ大学があるダニーデンは、海沿いにある自然豊かな、美しい街です。スコットランドからの移民によって作られた歴史ある

街で、街の名前は、ゲール語でスコットランドの首都「エジンバラ」を意味しています。「南海のエジンバラ」とも呼ばれ、現在でもスコットランド文化を色濃く残しています。地域人口の約20%は学生であり、学園都市としても有名です。坂が多い街でもあり、世界ギネスブックで認定された「世界一の急坂」Baldwin Street があります。

オタゴ大学ランゲージセンターの英語研修は充実の学習時間でしっかり学べるプログラムとなっており、自分のレベルに応じた学習を進めることができるので、英語に自信のない方や、海外での語学研修が初めてという方も、安心して参加することができます。さらに、中級レベル以上では、IELTSなどの検定試験対策授業を受講することができるのも大きな特徴の一つです。交換留学など、より長期の留学を考えている学生には絶好の機会となるでしょう。

滞在期間中は現地の家庭にホームステイするため、ニュージーランドの文化を体験しながら、生のKiwi Englishに触れることができます。週末はダニーデン市街を散策したり、近隣の街まで足を延ばしたりと、思い思いの過ごし方が可能です。

研修内容

ニュージーランド南島、ダニーデンにあるオタゴ大学ランゲージセンターにて、世界各国から集まる留学生とともに、5週間の英語研修に参加するプログラムです(1週間の授業時間数は23時間)。プレシメントテストにより5段階にクラス分けされ、参加者のレベルに応じたクラス(平均14名、最大18名)で授業が行われます。読む・書く・話す・聞く・文法・語彙と、英語を総合的に伸ばすカリキュラムが組まれており、各レベルには、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)に基づき、レベル毎に習得状況や目標があります。中級レベル以上では、General Englishに加え、IELTSやTOEICなどの検定試験対策クラスの選択授業を受講できます。

研修先について

オタゴ大学ランゲージセンター

オタゴ大学は、1869年に創立のニュージーランドで最も古い大学で、教育や研究において国際的な定評がある非常にレベルが高い大学です。研修先であるオタゴ大学ランゲージセンターはオタゴ大学の敷地内にある、大学付属の語学学校で、ニュー

ジーランドの中でもトップクラスを誇る設備(自習ルーム、図書室、カフェテリア、コンピュータールーム)を使用できます。また、優れた資格を持つ教師陣による質の高い授業が行われています。

スケジュール

月～金：英語研修
(課外アクティビティもあり)
土日：自由行動



充実した設備の自習ルーム



世界一急な坂Baldwin Street

オタゴ大学時計塔



オーストラリア 多文化共生社会体験プログラム

達成目標

- オーストラリア文化を学び、独自の意見を持つ
- 多文化共生社会について理解を深める
- 英会話を実践し、ホストファミリーと心を通わせる

実施期間：2月中旬～3月中旬 約5週間(予定)

滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(池田英喜准教授)

本プログラムは、オーストラリアでのホームステイと英語研修を通して、より広い視野を持ったグローバル人材の育成を目指して設立されたものです。ネット環境の発達により、どこにいても世界中の情報に接することができるようになった今だからこそ、日本にいては味わえない「何か」を全身で吸収し、「本物のグローバル人材」として成長するきっかけとなる経験を積むことができる、そんなプログラムです。

オーストラリアプログラムのここがオススメ!

このプログラムの大きな魅力は、①5週間滞在する間、現地の家庭にホームステイできること、②英語研修はレベル別にクラス分けされ、他の国の留学生と一緒に授業を受けられることです。

異文化体験を主としたプログラムのため、参加時の英語力は一切問いません。英語に全く自信がないというあなたも、躊躇することなく、ぜひ積極的に参加してください。日本から8～9時間のフライトと意外に近い

オーストラリア。ブリスベンとの時差はわずか1時間のため、日本での生活サイクルを保ったまま初日から意欲的に活動することができます。週末は、世界初で最大のコアラ保護区、ローンパイン・コアラ・サンクチュアリーを訪ねたり、ゴールドコーストへ足を伸ばしたりと、思い思いの過ごし方が可能です。

過去の参加学生からは、「わからないことだらけの土地で何でもトライしてみようという度胸が付き、使える英語がどんどん増えていった」、「文化・習慣・価値観の違いを肌で感じ、その違いを肯定的に受け取ることができ、自分の成長を感じた」、などの感想が寄せられています。本プログラムへの参加をきっかけに、交換留学等の長期留学を実現した先輩も少なくありません。学生の満足度が大変高いプログラムです。



ホストファミリーと一緒に

研修内容

異文化体験学習として、参加学生は現地での課題が与えられます。課題は、現地市民(ホームステイ先の家族等)にインタビューを行い日豪社会の比較及びその問題点を調査し、レポートにまとめることです。現地でインタビューしてまとめることが目的なので、課題は事前には知らされません。

英語研修では、レベル別にクラス分けされ、様々な国籍の留学生とともに週25時間のGeneral English Courseを受講。リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングを含めたコミュニケーション能力の向上を目指します。

研修先について

クイーンズランド工科大学(QUT) インターナショナルカレッジ

ブリスベン市内から2キロの距離にあるQUT Kelvin Groveキャンパス内に立地。語学としての英語を学ぶコースや大学正規入学に備えるためのコースがあります。少人数クラスで、経験豊富な講師陣とスタッフに加え、コンピュータ・ラボや語学学習ラボなど、学生専用の学習施設も充実しています。

す。本プログラムでは個人のレベルに合わせて学べるよう、初級クラス(Elementary)から上級クラス(Advanced)までのレベルに分かれ、General English Courseを受講します。

スケジュール

月～金：QUTインターナショナルカレッジ 英語研修コース受講

土日：自由行動



オリエンテーション・デーのキャンパス風景



様々な国籍のクラスメイトと



研修内容

フィリピン・マニラ市近郊のケソン市にあるアテネオ・デ・マニラ大学の言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))において、英語研修を実施します。研修は、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4技能の強化・向上を目的としており、期間中は1日あたり約6時間の英語学習を行います。参加者のレベルに応じてクラス分けされ、様々な国籍や文化的背景をもった人々と同じクラスで学びます。

研修先について

アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))

アテネオ・デ・マニラ大学は、1859年に設立されたフィリピンのトップレベルのカトリック系総合大学です。研修先であるALLCは、アテネオ・デ・マニラ大学の人文科学部の付属センターで、世界各国から学生を受け入れており、参加者のレベルに応じたクラスに分け、1クラス10名程度の少人数クラスで授業が実施されます。

なお、新潟大学は、アテネオ・デ・マニラ大学と2017年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

スケジュール

月～木：英語研修(一部金曜日授業あり)

土日：自由行動



授業風景



マニラ大聖堂

フィリピンALLC英語研修

達成目標

- 英語の4技能を集中的に鍛える!
- フィリピンの社会・文化・歴史を体感する!
- アジアや世界から見た日本について考える

実施期間：2月中旬～3月下旬 約5週間(予定)

滞在：キャンパス隣接宿舎

フィリピンALLC英語研修のここがオススメ!

フィリピンの公用語は英語で、英語教育の質が高いことに定評があります。経験豊富な教員による充実した授業が、他の英語圏の国々と比較すると非常に安価で受講することができます。英語力を向上させて、より長期の留学を目指す学生にとっては最適な研修の機会となるでしょう。実際に、本プログラムへの参加をきっかけにアテネオ・デ・マニラ大学に交換留学を実現した先輩もあり、他大学への交換留学等にも繋がっています。

研修期間中は、キャンパス隣接の宿舎に滞在します。ケソン市ならびに大学周辺の地域は治安もよく、コンビニや飲食店が充実しています。

今、世界中の企業の中でも東南アジアの国々が注目を浴びています。これから世界へ飛び出そうとしている若者にとって、現地を肌で感じる貴重な経験となります。

参加学生の声

- ◎効果的なカリキュラムで、参加前よりも英語学習へのモチベーションが上がった。
- ◎少人数クラスで、個々の学生に合わせてプログラムを提示してくれるのがよかった。
- ◎授業時間が長く、短期間であってもスキルの向上に繋がった。
- ◎ALLCの授業ではアクティブラーニングがメインで、より実践的に英語力を高められた。
- ◎他の国の留学生と一緒に授業を受けられてよかった。フィリピンだけでなく、他の国の文化も知ることができた。世界の現状について関心を持つようになった。
- ◎周辺のスーパー、薬局、飲食店が充実しており、生活に困らなかった。



ケソン市内の景色



シンガポール・スプリングセミナー

達成目標

- 留学・海外就職について考えを深める!
- 多文化共生のための実践力を養う!

実施期間: 2月下旬～3月上旬 約10日間(予定)

滞在: ホテル(研修先ビル内)

※本プログラム参加を希望する場合、第4タームに開講される「準備講座」は原則履修科目です。

研修内容

午前中の英語研修では、言語教育において豊富な実績で知られる Regional Language Centre (SEAMEO RELC) において、An English Communication Skills Course を受講します。日本人が比較的不得意とするオーラルコミュニケーションに力を入れたプログラムであり、多民族国家での豊かな教育経験を持つ講師陣が、英語プレゼンテーションの方法について、英語のみで指導します。

午後は日系グローバル企業や研究所等を訪問し、実務家たちとの交流などを通じて、留学や海外勤務について考えを深めます。名門シンガポール国立大学 (National University of Singapore, NUS) への訪問も予定されており、日本語を学んでいる現地学生と実際に交流する機会があります。

研修先について

SEAMEO RELC

東南アジア教育大臣機構 (Southeast Asian Ministers of Education Organization, SEAMEO) とシンガポール政府が合同で設立している、地域言語教育センター

(Regional Language Centre, RELC)、通称 SEAMEO RELC は、1968年の創立以来、地域の言語教育とりわけ英語教育において豊富な経験と実績で知られ、留学生から社会人までを指導しています。

スケジュール

月～金: (午前) 英語研修
(午後) 企業等訪問
土日: 自由行動



シンガポール国立大学にて

担当教員から一言

(張雲准教授)

アジアは急速に新興しています。IMFによれば、2019年の中国、日本、韓国、ASEAN諸国の名目GDPが世界全体に占

める比率は28%となり、ヨーロッパ連合と米国の経済規模を超えています。東アジアの域内貿易率は5割を超え、日本の輸出の半分以上がアジアへの輸出となっています。また、APEC、ASEAN+3、東アジアサミットを代表とする地域協力の枠組みが、この新興の波を後押ししていることから、このダイナミックな地域を知らないと、今後の世界の潮流を見失うと言っても過言ではありません。

本プログラムは、発展するアジアの先端に立ち、東洋と西洋の融合点にあるシンガポールに焦点を当て、英語力を磨きながらこのダイナミックなアジア、そしてこれからの世界の動きを探ることを目的とします。本プログラムの特徴は単純な「語学研修」ではなく、「事前勉強」と厳選したシンガポールにおける訪問先の第一線で活躍されている実務家たちとの交流などを通じて、以下の効果を期待しています。(1) 国際人材の教養を身につける。(2) 生きた英語のオーナーになる。(3) 総合能力の向上及び様々な異文化の場面に遭遇し、自己表現力、国際的な判断能力や発信能力などを高め、自信を身につける。長期留学、国際的なキャリアへの起爆剤になることも期待しています。

シンガポール・スプリングセミナーのここがオススメ!

多様な文化が共存する色彩豊かな美しい国シンガポール。高層ビルの隙間を埋めるように緑が勢よく育ち、街全体に潤いを感じます。また、中国系、マレー系、インド系、アラブ系など多様な人種が共存し、地下鉄を利用すれば、リトルインド、チャイナタウン、アラブストリートなどへ簡単に行くことができます。寺院やモスク、にぎやかな屋台やマーケットなど、それぞれ異なる国の国に行ったかのような雰囲気を楽しむことができます。

シンガポールの発展はめざましく、リゾート・レジャー施設がいくつもオープンし、地下鉄の路線も増え続けています。将来、世界を舞台に活躍したい学生に、ぜひ体験してもらいたいプログラムです。



企業訪問



オックスフォード大学スプリングセミナー

達成目標

- スピーキングを中心とした英語力UP!
- イギリスの文化や歴史について学ぶ!

実施期間: 3月中旬～下旬 約2週間(予定)

滞在: 学生寮(オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ)

※本プログラム参加を希望する場合、第4タームに開講される「準備講座」は原則履修科目です。

担当教員から一言

(ハドリー・浩美准教授)

歴史と伝統のあるオックスフォード大学にて、学生寮で生活を送りながら英語と比較文化を学んでみませんか。ハートフォード・カレッジはオックスフォード大学のほぼ中心に位置し、映画やドラマの格好の撮影場所ともなっています。徒歩圏内に名所がたくさんあることも魅力のひとつです。わずか2週間のプログラムですが、アクティブ・ラーニング型の授業で実践的な英語を学ぶと同時に、現地学生との交流やスタディツアーなどを通して多様な価値観に触れることができる充実したプログラムとなっています。あとはみなさんの努力次第で、生涯忘れられない貴重な経験となることでしょう。



授業風景

オックスフォード大学英語研修のここがオススメ!

オックスフォード大学のキャンパスでの英語学習や現地学生との交流などを通じて、学習意欲が刺激されることでしょう。研修の最終日には、「ガラディナー」と呼ばれるイギリスの伝統的な夕食会に準正装で参加するなど、イギリスの文化や歴史を実際に体験することができます。イギリス英語に触れられる点も大きな魅力です。

滞在中は、オックスフォード大学の現役学生が、寮生活から課外活動まで様々な面でみなさんをサポートするので安心です。オックスフォード市内や近郊には名所旧跡が多く、ロンドンへもバスで1時間半～2時間です。自由時間も様々な過ごし方が可能です。



ガラディナー

研修内容

世界的な名門大学であるオックスフォード大学との連携により、English Language and Japan-UK Comparative Culture Programmeを受講します。本プログラムは、スピーキングを中心とした英語によるコミュニケーション能力を育成するプログラムであり、英語教育の経験豊かな講師からイギリス文化や歴史を学ぶとともに、英語プレゼンテーション・スキルの向上を目指します。また、研修にはオックスフォード近郊へのスタディツアーや実地研修等が含まれ、実践的な英語を学ぶことができます。課外では、オックスフォード大学の現役学生が、アシスタントとして様々なサポートをしてくれます。



ため息の橋

研修先について

オックスフォード大学 ハートフォード・カレッジ

オックスフォード大学は、英語圏で最も歴史の長い大学であり、世界有数の学術機

関として知られています。研修先のハートフォード・カレッジは、オックスフォード大学を構成する39カレッジのうち、1282年に創立された最も古いカレッジの1つです。「ため息の橋」とも呼ばれる美しい渡り廊下でも知られています。

スケジュール

月～金: 英語研修、イギリス文化体験
(ロンドンなどへのスタディツアーに参加)
土日: 自由行動



西シドニー大学国際交流プログラム

オンライン × 現地渡航

達成目標

- 多国籍の学生との協働学習や交流、現地の人との交流を深める!
- 英語・キャリア・異文化・デジタルの知識とスキルを身につける!

実施期間: 8月～9月: オンライン研修 2週間 + 現地研修 2週間 (予定) ※
滞在: ホームステイ (現地研修)

※時期・期間は2022年12月現在の予定で、変更となる可能性があります。

研修内容

オーストラリアの西シドニー大学付属語学学校 The College が提供する、これからの社会に必要とされている英語・キャリア・異文化・デジタルを学習するプログラムです。本プログラムでは、オンラインによる約2週間の研修と、現地での約2週間の研修を効果的かつ自由に組み合わせ、英語研修に加えて様々な国籍の留学生や現地学生との協働学習に取り組みます。

また、西シドニー大学ならではのバーチャルエクスチェンジツールを利用して、国境を越えてリアルタイムで現地学生や他国の学生とのオンライン交流イベントに参加することができます。その上で、SDGsデータベースやデジタル図書館、e-learningシステムなどの自律学習ツールを駆使することにより、英語能力、キャリア意識、異文化対応力、デジタルリテラシーをさらに向上させることができます。

現地滞在期間中はオーストラリアの家庭にホームステイとなるため、現地の文化を体験しながら、生の Aussie English に触れることができます。また、現地でのインターンシップへの参加、あるいは西シドニー大学にしかないコアラとのSDGsプロジェクトや

Young Leadersプロジェクトへの取り組みを予定しています。多様な価値観や文化に触れることで国際的視野を広げ、グローバル人材としての社会人基礎力やコンピテンシーが鍛えられます。

研修先について

西シドニー大学付属語学学校 (The College, WSU)

西シドニー大学はシドニー北西部にメインキャンパスを持ち、北西部とシティに合計11のキャンパスを展開する大規模な総合公立大学です。1989年設立の新しい大学ですが、設立50年未満の世界36位にランクするオーストラリアでも急成長を続ける大学の一つで、グローバルに評価される教育システムと大学全体のデジタル化が進んでいることで知られています。留学生の割合は16%、国際色豊かな学習環境で勉強することができます。



The College

担当教員から一言

(蒙韜准教授)

このプログラムはコロナの真最中で立ち上げられ、「少しでも国際交流や国際教育に明かりを灯し、より多くの学生を笑顔で効果的に学ばせる」よう、本学が西シドニー大学付属語学学校 The College と心を込めて企画・運営・実行しました。

これまでの四回のオンライン研修は、参加学生に好評だっただけでなく、「誰が、何を、なぜ、またどのような状況で学習したのか」を測り、異文化間能力を含む自己 (Self) 全体を測定することが可能である客観的測定テスト BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory) の結果から、参加学生の①英語学習意欲、②グローバル・コンピテンシー、③社会人基礎力と④デジタルリテラシーを高めるために、優れた教育効果が確実に見られました。そのため、もし「オンライン研修には本当に効果があるのか」という疑問を持ったり、「今、やるかやらないか」を迷ったりするのなら、ぜひ応募してください! そうすると、きっと早いうちに、今までと違う自分に会えると思います。

参加学生の声

※2022年度のオンライン研修に参加した学生の感想です。

◎海を越えたところに「英語を使えば仲良くなれるかもしれない人」がいることを意識するきっかけとなった。

◎英語への苦手意識や、間違えることへの心配などもなくなり、自分のスピーキングに自信が持てるようになった。

◎キャリアの授業では、履歴書を書いたり、インターンシップの心構えなどを学び、自分について考える良い機会になった。授業以外のオンライン学習が充実してすごかったと思った。

◎SDGsの授業を通じて、私たちが当たり前である事が実は当たり前ではなく、様々な人たちの犠牲の上に成り立っていると気がついたのは大きな収穫であり、自分が何ができるかを考えていこうと思った。



オンライン研修の様子

Pick Up! オンラインプログラムを活用しよう!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン教育が急速に拡大する中、新潟大学でも様々なオンラインプログラムを提供しています。オンラインプログラムは、日本にいなが海外大学等の授業に触れることができるチャンスです。現地に滞在する留学で得られる学びとはまた異なりますが、オンラインで国際交流を経験したり、集中的に語学を学んだりすることで自信が付き、今後、実際に留学する際の有用な知識や経験を得ることができます。普段の生活と両立でき、費用が抑えられるのもオンラインならではのメリットです。

新潟大学ではこうしたプログラムを学生の皆さんに新たな学びの機会として提供できるよう、協定校等が実施するプログラムについて募集情報をお知らせしているほか、本学独自のオンラインプログラムも積極的に実施しています。今後も、渡航型の留学プログラムだけでなく、オンラインを活用した新たな留学プログラムを学生の皆さんに提供していきます。ぜひ、積極的に参加してみてください。

2022年度に実施したプログラムの例

- カナダ・サマーセミナー・オンライン
- オタゴ大学英語研修・オンライン
- 西シドニー大学国際交流プログラム
- 韓国サマーセミナー・オンライン など

参加学生の声

教育学部 石川 莉佳子 さん

西シドニー大学国際交流プログラム (オンライン・2022年9月12日～9月23日) 参加

「大学生のうちに色々なことに挑戦したい、自分の英語に自信を持てるようになりたい。」このような思いから、西シドニー大学国際交流プログラムへの参加を決めました。

私がこのオンラインプログラムに参加して感じたメリットは主に二つあります。一つ目は、日本で普段の生活を続けながら他国の学生と一緒に学べることです。授業ではzoomのブレイクアウトルーム機能を使ったグループ学習やペアワークを行い、他国の学生とも交流することができました。中国やサウジアラビア、モンゴルからの学生が参加していたので、英語以外にも

様々な国の文化についても学ぶことができ、非常に充実していました。

二つ目に感じたメリットは、研修期間中に活用できるICTツールで、授業時間外にも英語に触れる機会をとれることです。実際に私は、LinkedIn Learningという視聴教材を使用し、自分の興味のある分野について英語で学ぶことができました。このオンラインプログラムは、自分次第でどこまで多くのことを学び、経験できるプログラムだと感じています。

参加前にはスピーキングに自信がなかった私ですが、授業内外での活動のおかげでスピーキングにも自信をつけることができました。日本から世界中の人と繋がれたこの2週間は、私にとってかけがえのない経験です。少しでもやってみようと思ったら、ぜひチャレンジしてみてください。参加後には、大きな達成感と自信を得られると思います。



オンラインプログラムに関する情報は、ホームページで随時お知らせしています。

《HP》「新潟大学 国際交流・留学」→「海外への留学」→「オンラインにより実施されるプログラム」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/online/>

専攻に応じて専門分野を海外で学ぶためのプログラムです。
基本的に、プログラム実施学部所属学生を対象としています。詳しくは、各学部学務係にお問い合わせください。

〈プログラムの例〉 ※その他にも実施されるプログラムがあります。最新の情報は所属学部学務係で確認してください。

実施学部	プログラム名	実施予定 時期・期間	研修先国・地域	研修先大学等	単位 付与 認定	概 要
教育学部	アジア大学スポーツ交流 プロジェクト ～Sports for P.E.A.C.E.～	12月上旬(4日間)	韓国、中国	漢陽大学、 哈爾濱商業大学	無	漢陽大学体育学部・生活体育学部、哈爾濱商業大学体育学院の学生と各国の得意スポーツのトレーニング方法などについて情報交換する。また、研究についても学術的な交流を行い、スポーツを通じた交流も実施することで友好を深める。
理学部	インド太平洋地域の「仮想フィールド」を活用したハイブリッド型フィールド科学人材育成プログラム	4月～3月 (短期:10日間 中期:1～3か月間 長期:3～12か月間)	インド、オーストラリア、スリランカ	インド理科大学院大学、 カーティン大学、ペラデニア大学等	有	インド・オーストラリア・スリランカの大学生らとともに、仮想フィールド実習および渡航型のフィールド実習を通して、フィールド科学分野における最先端の研究環境を体験する。さらに、急速な資源開発やそれに伴う環境汚染に対する先進的な野外調査技術を体験する。
医学部 医学科	グローバル視点を育てる「国際医学生週間」の更なる活性化	8月～9月 (約2週間)	ロシア、中国	クラスノヤルスク医科大学、ハルビン医科大学、極東医科大学、パシフィック医科大学	有	「国際医学生週間」を企画し、ロシア・中国医科系大学の学生を受け入れ、新潟大学医学部での教育・研究・医療の国際学生交流を経た後に、本学の学生を2カ国の当該医科大学に派遣する。
	医学部海外派遣実習	9月～10月 (約8週間)	アメリカ合衆国、ロシア、マレーシア	極東医科大学、クラスノヤルスク医科大学、マレーシア国立大学、シガン大学、Brigham and Women's Hospital	有	学生は自ら希望する研究室を学内外から選び、研究活動の実験を経験し、研究の意義や重要性を理解すると共に、研究の基本的な進め方を学ぶ。医学生を海外に派遣することで研究心を刺激し、海外経験を通じて、将来的に最先端の医学研究や国際医療協力などグローバルに活躍できる人材を養成する。
医学部 保健学科	グローバルヘルス人材育成ペラデニア大学短期派遣プログラム	9月上旬～中旬 (約1週間)	スリランカ	ペラデニア大学	有 (一部無し含む)	スリランカの保健医療の実験を学び、学術交流や異文化体験を通じ、グローバルヘルスの視点を修得し、将来の国際保健医療人としての下地を養う。
	グローバルヘルス人材育成マクマスター大学短期派遣プログラム	8月上旬～中旬 あるいは3月中旬～下旬(約1週間)	カナダ	マクマスター大学	有 (一部無し含む)	マクマスター大学でカナダの医療に関するミニ講義(英語)を受けるとともに、実際の医療機関の見学も行う。これらを通してカナダの文化や医療の現状を学び、グローバルヘルスの視点の修得を目指す。
歯学部	歯学部短期海外派遣プログラム	8月～3月 (約2週間)	東・東南アジア(タイ等)、北米・中南米、欧州(スイス等)等(約10カ国)	国立陽明交通大学、チェンマイ大学、トロント大学、ペンシルバニア大学、WHO本部 他	有	派遣先ではそれぞれの国や地域の特性を活かしたさまざまな短期研修プログラムが用意されており、日本とは異なる環境で口腔保健医療の実態を見聞・体験することにより、口腔保健医療の相互理解を深めることができる。
工学部	G-DORM学生交流プログラム(ブレンド型短期・中期) ※課題解決型・アジア派遣	短期:2学期(講義)＋3月頃(派遣10日間) 中期:8～9月(2ヶ月間)	カンボジア・ラオス・タイ・ベトナム	王立ブノンペン大学、ラオス国立大学、チュラロンコン大学、ハノイ工科大学	有	派遣先大学の学生と、専攻・学年・国籍混合の学生チームを結成し、主にグループワーク(GW)に取り組む。国際展開力を有する新潟関連企業(現地法人を含む)でのインターンシップと、派遣先大学での活動を組み合わせた学生交流プログラム。短期派遣では、国内学修やオンライン交流を含んだブレンド型の国際共修に取り組む。
	夏の学校プログラム(夏期集中型・研究室滞在型)	夏期集中型: 8月下旬～9月上旬(2週間) 研究室滞在型: 応相談 (3ヶ月間または5ヶ月間)	ドイツ	マグデブルク・オットーフォンゲーリック大学	有	夏の学校と研究室滞在型留学を、ドイツのマグデブルク大学との間で相互に訪問する形で実施する。学ぶのは、ホスト側の「言語、文化、科学技術と研究の進め方」で、夏季集中型はGコード科目「異文化と技術」(第1学期開講)で単位を認定する。
農学部	グローバル農力養成プログラム/グローバル防災・復興プログラム(短期)	9月(約2週間)	トルコ 等	アンカラ大学、中東工科大学 等	有	海外(トルコ等)の協定校との交流を行う中で、訪問国の農業・防災・復興を複合的視点で学習するほか、現地学生を交えた英語のワークショップを実施する。



アジア大学スポーツ交流プロジェクト(教育学部)



課題解決型・アジア派遣プログラム(工学部)

STEP 3 交換留学

交換留学とは？

新潟大学と海外の大学(協定校)との間で結ばれている学生交換協定に基づき、1学期間(約半年)または2学期間(約1年間)、協定校へ留学する制度です。留学期間は新潟大学の修業年限(在学年限)にカウントされ、「授業料不徴収協定」が結ばれている場合、新潟大学に授業料を納めていれば、留学先大学では授業料を支払う必要がありません。協定には、大学間交流協定(大学と大学との間で締結している協定)と部局間交流協定(学部や研究科単位で締結している協定)があり、それぞれの対象や問い合わせ先は以下のとおりです。

交換留学の種類	対 象	問い合わせ先
大学間交流協定校への交換留学	全学の学生	学務部留学交流推進課
部局間交流協定校への交換留学	当該学部・研究科の学生	所属学部・研究科学務係

以下、全学の学生が対象となる大学間交流協定校への交換留学について記載しています。部局間交流協定校への交換留学については、所属学部・研究科の学務係にお問い合わせください。

大学間交流協定校への交換留学 5つのポイント

ポイント1 全学部・研究科の学生が応募できる！

ポイント2 応募のチャンスは年に2回！

2～3月開始の交換留学 … 前年の6～7月頃に募集
8～9月開始の交換留学 … 前年の10～11月頃に募集 ※応募スケジュールは変更になることがあります。

ポイント3 留年なしでの留学も可能！

留学期間中に取得した単位は、所属学部・研究科に認められれば単位互換が可能です。計画的に留学、授業を履修すれば、留学期間を含めて「4年間で卒業」することもできます。(※ただし、所属学部・研究科によって異なるので要確認。応募前に、卒業までのカリキュラムや単位について、所属学部・研究科の学務係や教員と十分相談してください。)

ポイント4 経済的負担が小さい！

新潟大学に授業料を納めることで、留学先大学では授業料を納める必要はないため、留学費用の負担が少なく済みます。また、所定の要件を満たしている場合は、返済不要の奨学金を受給しながら留学可能です。(奨学金については、詳しくはp.18-19へ！)

ポイント5 手続き面でのサポートあり！

大学間交流協定校への交換留学は、留学が正式に決定するまで学務部留学交流推進課が留学先大学と連絡を取りながら手続きを進めます。また、留学手続きオリエンテーションや渡航前オリエンテーションにて、手順等を確認することができます。

主な留学先	国・地域	大 学 名	国・地域	大 学 名	国・地域	大 学 名
	アメリカ	ロードアイランド大学	タイ	チュラロンコン大学 他	ドイツ	ミュンスター大学 他
	アメリカ	カリフォルニア州立大学ソノマ校	アジア太平洋地域	UMAP (アジア太平洋大学交流機構) ※	フランス	ナント大学 他
	オーストラリア	シドニー工科大学	中国	中央民族大学 他	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
	韓国	仁荷大学、漢陽大学	台湾	国立中央大学 他		

上記以外にも様々な協定校があります。協定校の一覧は、以下のホームページで確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/internationaldata/partner/>



※新潟大学はUMAPと大学間交流協定を締結しているため、UMAP参加大学も交換留学対象となります。

応募前 ～交換留学したいと思ったら～

目的・目標を明確にする

○どのような目的・目標で留学するのか。具体的に何を勉強したいのか。
○どの国で、どのような大学で学びたいか。留学期間は？いつ留学するのがベストか？
○留学は、その後の自分の学びと進路において、どのような位置づけにあるのか。

留学先大学を選ぶ

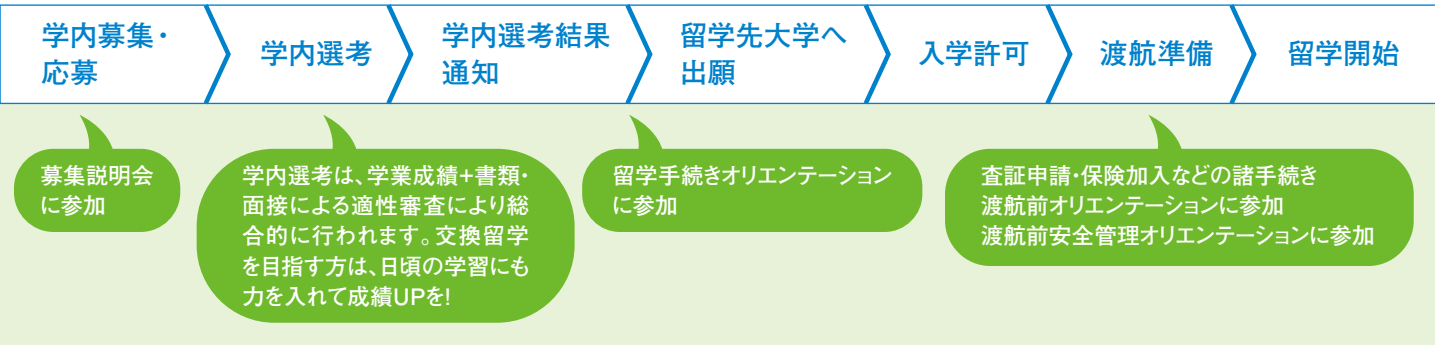
◎学修したい内容を学ぶことができるか。
○留学先国・地域の生活環境に適応できそうか。
○留学先でかかる費用、現地の物価
○どのくらいの語学能力が要求されるのか
○所属する学部・研究科のカリキュラムを履修するうえで問題はないか。

後悔しない留学をするには「情報収集」から！

1. 新潟大学 HP の交換留学のページ (協定校のファクトシートや留学体験談などを読んでみる)
2. 興味のある協定校の公式ウェブサイト (交換留學生向けの情報、特に、履修できる授業の情報など)
3. 担当教員や所属の学務係に相談する
4. 留学ガイダンス・募集説明会に出席する
5. 留学相談を活用する … 他

ポイント! 交換留学には、情報収集能力は不可欠! まず自分で調べてみましょう。留学中、自分の身を守り、充実した留学生活を送るうえでも役立ちます。

学内募集～留学開始までの流れ



語学要件について 早めの準備をオススメ!

協定校が語学要件を定めている場合は、[出願時までに必ず語学要件を満たす必要があります](#)。英語圏への交換留学に必要なTOEFL iBTやIELTSはSpeakingやWritingを含むため、早めの準備・受験をお勧めします。また、協定校が語学要件を定めていない場合でも、語学検定試験を計画的に受験し資格を取得することで、各種奨学金制度や学内選考の審査で有利になるほか、留学中の学習効果アップが期待されます。

語学要件の例	TOEFL iBT	IELTS (Academic Module)
アメリカ・ロードアイランド大学	79以上	6.5以上
アメリカ・カリフォルニア州立大学ソノマ校	61以上	6.0以上
オーストラリア・シドニー工科大学 (1)学部正規科目を履修する場合 (2)オーストラリア言語文化課程の場合	79以上 (Writing21以上) 35以上 (Writing17以上)	6.5以上 (Writing6.0以上) 5.0以上 (Writing5.0以上)

Check!

新潟大学では長期留学を目指す学生向けに、TOEFL iBT Preparation I & II、IELTS Preparation I & II、iStep、iStep Extension、中級EAP、上級EAPの英語科目が開講されています。詳しくは、英語履修案内を確認してください。

※キャンパスや専攻によっても要件が異なります。

交換留学の費用

留学に必要な費用は、留学する国や留学期間、滞在方法などにより大きく異なります。主な募集校の費用の目安については、ホームページに掲載のファクトシートに記載があります。ご家族と事前によく相談し、十分な資金計画を行った上で応募してください。

留学にかかる費用	渡航費、住居費、現地での生活費、教科書代、学研災付帯海学留学保険料及び危機管理サービス料 (本学指定、加入必須: 1学期約6万円、2学期14万円程度)、ビザ取得費用など ※その他、現地保険料 (現地の大学が定める保険に加入が必須となる場合) もしくは授業料 (任意で附属の語学学校に通う場合) がかかる場合がある
----------	---

【留学費用の例】 2022年度に留学した先輩の実績です。
留学先でかかる費用は、日本での生活費と同じく、非常に個人差が大きく、また為替や物価の変動を受けるため、あくまで一例として参考にしてください。

留 学 先	渡航費 ※1 (往復)	住 居 費	食 費	そ の 他	奨学金 (給付型)
アメリカ・ロードアイランド大学に留学したAさんの例	30万円	85万円/1学期 (ミールプラン:15食/週含む) (大学の寮に入居)		13万円 (現地で加入した保険・1学期分)	月額8万円
オーストラリア・シドニー工科大学に留学したBさんの例	22万円	14万円/月 (学外・シェアハウスに入居 ※2)	3.5万円	2.8万円 (現地で加入した保険・1学期分)	月額7万円
フランス・ナント大学に留学したCさんの例	39万円	3.7万円/月 (大学の寮に入居)	3万円	3万円 (ビザ申請費用、東京までの交通費含む)	月額8万円
韓国・漢陽大学に留学したDさんの例	10万円	5万円/月 (学外・民間宿舎に入居 ※3)	3.5万円	大学附属語学学校授業料 15万円/学期(任意)	月額7万円

※1 渡航費は、直行便・経由便、時期、変更に関する条件などにより異なります。なお、2022年の渡航費は、原油価格の高騰や円安の影響による、燃油サーチャージの値上がりなどの影響を大きく受けています。
※2 シドニー工科大学は大学寮の入居者数に限りがあるため、入寮できない場合は学外の民間宿舎に滞在することになります。
※3 漢陽大学は現在大学寮に入居できないため、学外の民間宿舎に滞在することになります。

大学間交流協定校への交換留学について詳しく知りたい方は、ホームページを確認してください。

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/>



留学 奨学金について

奨学金による支援が充実！

新潟大学には充実した奨学金制度があり、多くの学生が(独)日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金(返還の必要のない奨学金)を受給し、海外へ留学しています。全学対象の夏季・春季ショートプログラムのほか、専門分野プログラムや交換留学等も奨学金の支給対象となっており、条件を満たす学生には、渡航先により月額6～10万円が支給されます。

奨学金には、返済不要の給付型奨学金と、返済が必要な貸与型奨学金がありますが、ここでは主に返済不要の海外留学奨学金について紹介します。



新大生にとって身近な給付型奨学金

奨学金の名称等	対 象	支 援 内 容	成績要件	応募方法
1.JASSO海外留学支援制度 (協定派遣)	JASSOに採択された新潟大学のプログラム	月額6・7・8・10万円(国・地域による) 別途、経済的に困窮した留学希望者が一定の家計基準(奨学金家計基準とは異なる)を満たした場合に、渡航等に必要となる費用を支援することを目的とした「渡航支援金」(32万円)あり。	あり	参加するプログラムの担当教職員または所属学部・研究科学務係に確認してください。
2.新潟大学派遣留学支援制度 (セメスター留学奨学金) ※JASSO海外留学支援制度(協定派遣)及び新潟大学基金を原資として学内で公募する奨学金。	1学期間または2学期間の交換留学等	月額6・7・8・10万円(国・地域による)	あり	学内募集時に、所属学部・研究科学務係を通じて学生が応募
3.官民協働海外留学支援制度 ～トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム～ 公式HP: https://tobitate.mext.go.jp/newprogram/uv/	28日以上1年以内の留学(3か月以上推奨)	月額奨学金 月額12万円 または 16万円 (家計基準を超える場合) 月額一律6万円 留学準備金(定額) 15万円(アジア地域)・25万円(その他地域) 授業料(定額)※ 30万円 ※大学または大学院を留学先機関とし、留学計画に沿った専門分野を学ぶことを目的とした授業の授業料のみ。	なし	学生自身が立案・作成した留学計画について、大学を通して申請。学内募集時に学生が学務部留学交流推進課へ応募

1 JASSO海外留学支援制度(協定派遣)

■ 支給にあたっての主な要件 以下①及び②の他にも支給対象者の資格及び要件あり。詳しくは下記ホームページにて確認してください。

①成績要件:成績評価係数※ 2.30以上 ※JASSOが定める計算式(3.00満点)による。GPAとは異なるので注意。

前年度の成績により算出します。ただし、前年度の成績がない1年生は前学期分の成績を使用します。ご自身の成績評価係数について確認したい方は、ホームページに計算用のエクセルシートを掲載していますので、ダウンロードして活用してください。

《HP》「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「海外留学の奨学金」
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/>



②家計基準:JASSO第二種奨学金(国内貸与型奨学金)在学採用の家計基準

【収入・所得の上限額の目安】 (独)日本学生支援機構ホームページより転載

区 分			給与所得者	給与所得以外
3人世帯	国・公立	自宅	1,012万円	604万円
		自宅外	1,059万円	651万円
4人世帯	国・公立	自宅	1,096万円	688万円
		自宅外	1,143万円	735万円
5人世帯	国・公立	自宅	1,314万円	906万円
		自宅外	1,408万円	1,000万円

【家計基準確認にかかる提出書類】

〈学部生の場合〉 生計維持者(原則父母)の所得証明書類

〈大学院生の場合〉 本人(及び配偶者)の所得証明書類

具体的には、給与所得者の場合は源泉徴収票、給与所得者以外の場合は確定申告書(第一表と第二表)(控)の写し(税務署の受付印があるもの)(いずれも直近のもの)、所得証明書(市町村発行)の写しまたは非課税証明書(所得がない場合)(市町村発行)の写し等の提出が必要です。

給与所得者……源泉徴収票の支払金額

給与所得以外…確定申告書等の所得金額

❗ 第二種奨学金在学採用の家計基準を上回る場合でも、追加資料の提出等により「自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者」と判断される場合がありますので、所属学部・研究科学務係(または学務部留学交流推進課)へご相談ください。

2 新潟大学派遣留学支援制度(セメスター留学奨学金)

■ 交換留学など、1学期以上の留学をすることが決まったら…

交換留学等による1学期間または2学期間の留学をする学生が対象です。募集要項で申請要件に合致するかを確認の上、受給を希望する学生は申請期限までに所属学部・研究科学務係宛てに申し込んでください。



- 交換留学への応募とは別に、奨学金への申請が必要です。
 - 支給にあたっての要件は、「1.JASSO海外留学支援制度(協定派遣)」と同様です。
 - 語学要件もありますので、募集要項にて確認してください。
 - 交換留学以外の協定校へのセメスター留学も、その他の要件を満たしている場合は対象となる可能性があります。
- 《HP》「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「海外留学の奨学金」
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/>



3 官民協働海外留学支援制度 ～トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム～

■ “幅広い留学”を支援(実践活動のみもOK)!学生が自ら留学計画を作成

2014年度から実施された「日本代表プログラム」の基本理念やコミュニティを受け継ぎつつ、より発展的に進化した事業として、2023年度から5年間実施されるプログラムです。将来、「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」として日本の未来を創る人材の育成を目指します。

学生自身が定めた明確な目的と意欲的な目標に基づき立案した、「実践活動」を含む留学計画を支援しています。



- 新潟大学では、本プログラムの第1ステージとなるトビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム(2014年度～2022年度実施)で計37名の採用実績があります。
 - 交換留学をベースにボランティア活動を組み合わせた計画、インターンシップのみの計画など、幅広い留学を支援。
 - 申請についての質問・相談は、学務部留学交流推進課まで。過去の採用学生の申請書類も閲覧可能です。
 - トビタテに申請し、採用に至らなかった方を対象とした学内支援もあります。
- 新潟大学派遣留学支援制度(トビタテ!申請奨励金)

面接審査まで進んだが採用に至らなかった方に対し、東京までの交通費相当額2万円を支給するもの。

《HP》「新潟大学 国際交流・留学情報」>「海外への留学」>「海外留学の奨学金」
⇒「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム～」
▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/scholarship/tobitate/>



その他の奨学金

海外留学の奨学金には、上記以外にも、外国政府等奨学金(中国政府奨学金など)、地方自治体奨学金、民間団体奨学金など、様々な奨学金があります。積極的に情報収集し、ぜひ自分に合った奨学金を見つけて応募してみてください。大学を通して申請する海外留学奨学金については、上記「新潟大学 国際交流・留学情報」HPに情報掲載しています。

オススメ!

JASSOの「海外留学支援サイト」では、留学先国・地域についてだけでなく、海外留学奨学金について情報収集・検索することができます。

▶ <https://ryugaku.jasso.go.jp/>



その他セメスター留学

右の協定校については、新潟大学に授業料を納める交換留学ではなく、協定校に授業料を納めることにより1学期以上留学することが可能です。

※協定校が語学要件・成績要件を定める場合、その要件を必ず満たさなければなりません。

《HP》「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「交換留学・その他セメスター留学」⇒「その他(協定校への交換留学によらない留学)」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/exchange/fee-paying/>



留学の安全・危機管理について ～自分の身は自分で守る～

渡航前の注意

(心構えと情報収集)

海外では、日本とは異なる危険や病気、事件・事故等、予期しない事態に遭遇する可能性があります。留学中は、自分の安全管理は、自分自身で行うことが必要です。

留学先を決定する際は、必ずその国・地域の様々な情報を調査し、留学期間中を通じ、常にその国・地域の最新情報の入手に努めるとともに、危険と思われるところへは近づかないよう注意してください。

1 「外務省海外安全ホームページ」からの情報収集

外務省では「[海外安全ホームページ](https://www.anzen.mofa.go.jp/)」<https://www.anzen.mofa.go.jp/>に、海外の犯罪、事件、テロなどの危険情報や、新型コロナウイルス感染症などの感染症流行状況、予防接種の要否、安全の手引きなど、有益な情報を掲載しています。渡航前には、必ず「海外安全ホームページ」を確認し、渡航の準備をしてください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、出入国や行動制限措置が取られている国・地域があります。必ず最新の情報(新型コロナウイルス感染状況や入国制限、入国後の行動制限について)を確認してください。

「海外安全ホームページ」
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

！ 新潟大学では、危険情報(感染症危険情報を含む)レベル2「不要不急の渡航は止めてください。」以上の国・地域や、スポット情報で渡航自粛が呼びかけられている国・地域への渡航は禁止しています。

2 「たびレジ」登録

渡航予定が決まったら、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。

▶ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

登録すると、渡航先の最新防犯情報や注意事項が電子メールで提供されます。

また、渡航先国・地域に所在する日本国大使館などが在留邦人に出す緊急一斉通報や、最新の渡航情報もリアルタイムで受け取ることができます。さらに、現地で大きな事件や事故、災害が起こった場合には、登録された連絡先を基に日本国大使館などから安否確認の緊急連絡を行いますので、支援がスムーズに受けられます。

なお、「たびレジ」簡易登録を活用すると、具体的な渡航予定はないが海外の安全情報は入手したいという場合も、メールアドレス(複数アドレス登録可能)と国・地域(複数指定可能)を登録するだけで、最新の安全情報等をメールで受け取ることができます。留学に際してご家族のメールアドレスを簡易登録すると、皆さんの留学先国・地域について、ご家族も最新情報を得ることが可能です。

また、渡航期間中に小旅行等で別の国・地域に移動する場合にも、行き先の国・地域について「たびレジ」へ登録しておきましょう。

※外国に住所または居所を定めて3か月以上滞在する場合は、「在留届」を提出してください。

3 在外公館連絡先確認

渡航先の最寄りの日本大使館・領事館の所在地・連絡先を調べておきましょう。

▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

在外の日本大使館・領事館は、海外における日本人の保護や援助を任務の一つとしています。渡航先で、事件・事故に遭うなどして支援が必要となった時には、迷わず滞在地最寄りの日本大使館・領事館へ連絡してください。

4 海外渡航前安全管理オリエンテーション出席

新潟大学では、海外渡航する学生の皆さんの安全管理教育のために、長期休暇前の6-7月及び12月に五十嵐キャンパス、旭町キャンパスにおいて、渡航前安全管理オリエンテーションを開催しています。海外に渡航予定の人は、必ず出席するようにしてください。

関係資料や様式等について、ホームページで確認・ダウンロード可能です。

〈HP〉「[新潟大学 国際交流・留学](#)」⇒「[海外への留学](#)」⇒「[留学の安全・危機管理](#)」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/safety/>



5 各種情報収集 参考URL

海外安全情報

- ・外務省 海外安全ホームページ……………▶ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ・外務省 海外旅行登録「たびレジ」……………▶ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
- ・外務省 海外安全虎の巻……………▶ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>
- ※各学部・研究科学務係及び学務部留学交流推進課で紙媒体の冊子を入手することができます。
- ・外務省 在外公館リスト……………▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

感染症・医療情報

- ・外務省 世界の医療事情……………▶ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>
- ・厚生労働省検疫所 海外旅行者のための海外感染症情報……………▶ <https://www.forth.go.jp/index.html>
- ・国立感染症研究所感染症疫学センター……………▶ <https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
- ・世界保健機関(WHO)……………▶ <https://www.who.int/en/>
- ・米国 疾病対策センター(CDC)……………▶ <https://www.cdc.gov/>

危機管理情報

- ・米国 連邦危機管理庁(FEMA)……………▶ <https://www.fema.gov/>
- ・英国 情報局保安部……………▶ <https://www.mi5.gov.uk/>
- ・英国 外務英連邦開発省(FCDO)……………▶ <https://www.gov.uk/government/organisations/foreign-commonwealth-development-office>

渡航前の諸手続き 海外へ渡航する場合は、必ず事前に次の手続きを行ってください。

1 海外旅行保険・危機管理サービス加入

海外の病院での医療行為は日本とは医療事情が異なり、一般的に日本での治療費用より高額な場合が多く、海外旅行保険による支払保証を行わないと治療を受けられないこともあります。渡航中の不慮の事故や疾病に備えて、海外旅行(留学)保険に必ず加入してください。

(1) **大学主催の海外派遣プログラムに参加するなど、教育・研究活動のため渡航する学生の皆さん**

新潟大学では、教育・研究活動のため海外渡航する学生の皆さんについては、原則、大学が指定する学生教育研究災害傷害保険(学研災)付帯の海外留学保険「付帯海学」に加入することとしています。

あわせて、緊急時の対応を強化するため、危機管理サービスにも加入していただきます。この危機管理サービスにより、渡航中、24時間365日「国際ホットライン」による相談サポートを受けることができます。

「付帯海学」及び危機管理サービスの詳細(費用・申し込み方法等)については、学務情報システムから資料をダウンロードするか(フォルダ名:学生向け海外渡航手続き(保険・危機管理サービス)関係資料)、所属学部・研究科の学務係または学務部留学交流推進課で資料をもらい、確認してください。

(2) **左記(1)以外の目的(観光旅行等)で渡航する学生の皆さん**

少なくとも「治療・救援費用」、「賠償責任費用」については、必ず十分な補償内容の海外旅行保険に加入してください(クレジットカード付帯の保険は原則不可)。最低でも、「治療・救援費用」の補償額が3,000万円以上、「賠償責任費用」については補償額が保険会社の上限補償金額の保険に加入することを推奨します。(ただし、3,000万円以上の海外旅行保険加入が、事故にかかる費用を確実に補償するものではありません。)

あわせて、緊急時の対応を強化するため、危機管理サービスに加入していただくことができます(推奨)(ただし、私事旅行のうち、親族が同行するもの及び留学生の一時帰国については対象外)。この危機管理サービスにより、渡航中、24時間365日「国際ホットライン」による相談サポートを受けることができます。危機管理サービスの詳細(費用・申し込み方法等)については、学務情報システムから資料をダウンロードしてください。

2 「海外渡航計画書」の提出

目的・理由にかかわらず、海外へ渡航する場合は、必ず事前に所属学部・研究科の学務係に「海外渡航計画書」を提出してください。

「海外渡航計画書」は学務情報システムの【海外渡航登録】から、渡航先や渡航目的、緊急連絡先などを入力して作成してください。作成後は、忘れずに「海外渡航計画書」をPDF出力して印刷し、所属学部・研究科の学務係に提出してください。

留学中に気を付けること 「安全のための行動三原則」をしっかり守ろう！

1) **目立たない**

目立たない服装や、慎んだ行動をとることが危険を回避することにつながります。

2) **行動をパターン化せず、察知されない**

外出時間やルートの固定化、長期の不在等には十分な注意を。

3) **常に用心を怠らない**

慣れは禁物。自分ではどんなに現地に慣れてきたと思っても、周囲からは日本人として見られているものです。日頃から携行品に細心の注意を払い、後ろを振り向く習慣を身につけるようにしましょう。

留学体験談

ショートプログラム（カナダ・サマーセミナー）

法学部 長谷川 由 さん

私は、大学1年生の夏休みにカナダ・サマーセミナーに参加しました。本セミナーに参加した理由は、もともと英語圏への留学に興味があり、また、留学説明会でカナダの美しい自然や文化に魅力を感じたからです。

アルバータ大学の授業では、社会問題やカナダの文化について他大学・他国の学生と英語で話し合ったり、プレゼンテーションを行ったりしました。放課後には、SEC Activitiesというリスニング・コミュニケーション・ボランティアの三つから選べる自由参加型のアクティビティがあったため、積極的に参加し現地の学生や留学生と交流しました。特に、このアクティビティを通して仲良くなった現地の学生と、ボットラックというカナダのパーティーと一緒にしたことが印象に残っています。

宿舎での共同生活では、同室の学生と宿題をし

たり、公共交通機関を利用して博物館やお祭りに行ったりするなどカナダでの大学生活を体験することができました。ホームステイでは、ホストファミリーと多くの時間を過ごしたことで、現地の人々の生活を実際に知れただけでなく、よりスムーズに英語での会話もできるようになったと思います。また、本セミナーの特徴の一つであるカナディアンロッキーツアーでは、山中の散策やカヌー体験をしてカナダの自然を満喫しました。

私にとって、現地で過ごした日々は、4年間の学生生活の中でかけがえない思い出となりました。本セミナーは短期の留学プログラムですが、短期間でも海外での学習や生活を経験することは、自分自身の成長につながると思います。海外に興味がある方や、新しいことに挑戦したい方など多くの方々にぜひ参加していただきたいです。



ショートプログラム（オタゴ大学英語研修）

農学部 片山 英恵 さん

私は、ニュージーランドのダニーデンにあるオタゴ大学で、一か月間の英語研修プログラムに参加しました。

この研修プログラムに参加した理由は、英語の学習に力を入れたかったこと、海外の文化に触れたかったからです。日常生活の中で、ライティングやリスニングの学習はできても、英語を話す環境に身を置くことができていませんでした。そこで、思い切って英語で会話を行う環境に身を置き、英語を話す練習をしたいと考えました。また、ニュージーランドの豊かな自然に触れてみたいという思いがあったことや、公用語の一つが英語であったことから、留学先としてニュージーランドを選択しました。

現地では、最初にクラス分けのための試験を受けます。そして配属されたクラスで、英語の学習に取り組みます。私は大きく分けて、英文法を主として学

ぶクラスと、IELTSの対策を主としたクラスの二つを受講しました。授業が行われたオタゴ大学付属英語学校は、キャンパス内の他の建物とは離れたところにあったため、現地の大学生と交流できる機会は想像していたよりも得られませんでした。が、同じクラスに日本の大学生、中国やタイ、サウジアラビアなど、様々な国や地域から、色々な理由で留学に来ている方々がいらっしやだったので、そのような方々との交流ができたことは貴重な経験となりました。また、ボランティア等の活動に参加することで、現地の方々と交流する機会を得ることができました。

留学中の思い出は、留学先で出会った友人とラグビーの観戦をしたこと、現地の市場に行ったことです。ニュージーランド代表の選手が所属するチームの試合を観戦することができたことや、現地の市場でおいしい食べ物を食べることができたことは、とても

良い思い出になりました。他にもダニーデンの豊かな自然に触れ、ホームステイなどを通して新しい文化に触れることができ、たくさんの思い出と出会いのある貴重な一か月間を過ごすことができました。



交換留学（アメリカ・ロードアイランド大学）

人文学部 佐藤 はな さん

私はアメリカ合衆国のロードアイランド大学で、二学期間の留学を予定していて、現在4か月が経過したところです。留学を目指したきっかけは、自信を持って自らの意見を表現できる語学力と、文化の違いやそれぞれの国の魅力を体感し、広い視野を身につけたいという思いからです。留学先では、ドイツやフランスからの留学生、アメリカの現地の学生と一緒に国際寮で生活しています。同じ寮には学生が全部で70人ほどいて、毎日賑やかで楽しく過ごしています。

一学期は授業を4科目受講しており、文学やジェンダー、英語のWritingとSpeakingについて学んでいます。文学とジェンダーの授業は周りに誰も留学生がおらず、毎回授業前に課されるリーディング課題の多さや、授業がディスカッションメインであるため、現地の学生の積極性とスピード感到戸惑うこと

もありました。ですが、何かわからないことがあれば授業後に教授に直接質問しに行くことを心がけ、教授のサポートを受けながらなんとか乗り越えることができています。

授業以外の時間は友達と出かけたり、学校内にあるジムに行って身体を動かしたりすることが多いです。また、祝日や長期の休みには、寮の仲間と旅行に行ったりして、充実した日々を過ごすことができています。

語学については、まだはっきりと自分で実感できるほどの上達はわからないのですが、ネイティブスピーカーの話すスピードには少しずつ慣れてきて、聞き取りやすくなったのは感じます。これからもっとspeaking力の方も高めていけるよう、頑張りたいと思っています。

初めての海外生活で、さらにずっと実家暮らしだったこともあり、最初の1、2ヶ月は寂しく感じることもありましたが、それよりも楽しいことが沢山あって全てが刺激的な毎日です。留学に少しでも興味がある

方は、まずは是非留学交流推進課の方々に相談してみてください。勇気を出した先にはきっと、想像以上に濃密で楽しい時間が待っていると思います。



これ以外の留学体験談は、ホームページで Check!

〈HP〉「新潟大学 国際交流・留学」⇒「海外への留学」⇒「留学体験談」

▶ <https://www.niigata-u.ac.jp/international/study-abroad/student/>



交換留学（フランス・ナント大学）

経済学部 石原 楓子 さん

私は、大学4年の9月から翌年の1月までフランスのナント大学に留学しました。大学から初修外国語としてフランス語を学び始め仏語や現地の文化についてもっと知りたいと思うようになりましたが、2、3年次には感染症の影響で留学することができませんでした。2022年度に交換留学プログラムが再開すると知り、学生のうちに留学できる最後のチャンスだと思い留学を決意しました。

現地では大学寮に住み、ナント大学附属語学学校i-FLEに通っていました。授業は全てフランス語で行われ、言語の授業以外にも、芸術や歴史などについて学べる選択授業があります。いずれの授業もクラスメイトと話し合ったり、プレゼンテーションをする機会が多く、自主性が尊重されていると感じました。

私はフランスの食文化や街並み、家族や仕事に対

する価値観の違い等に関心があったので、放課後や週末は積極的に外に出向くようにしていました。授業で学べることも多いですが、街を歩くことや、教室外での人とのコミュニケーションが文化理解や語学学習のモチベーション向上に繋がりました。印象に残っているのは、放課後や休日に友人が何度か家に招いてくれたことです。気軽に家に招いてくれて、そこで食事だけでなく経験や考え・時間を共有して仲を深める文化を感じました。「フランス人は議論好き」と耳にしたことがあったのですが、私のチューターをしてくれた女性も議論好きだったので、お互いの文化について質問し合ったり家族観や宗教観など興味深い話を聞くことができました。

渡仏前は新たな環境に適應できるかなど不安でしたが、今では留学をして良かったと心から思います。少しでも留学を検討

されている方へ、今しかないこのチャンスを最大限に活用して、有意義な大学生活が送れますように!



交換留学（タイ・チュラロンコン大学／トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム第14期生）

創生学部 深沼 瑞会 さん

私は「小麦アレルギー患者のための米加工品普及」をテーマに1年間留学しました。タイは米粉を使った麺やお菓子などの種類が豊富で米文化が根強く、国として食品産業を推進しているという理由から選びました。

チュラロンコン大学での交換留学の最初の学期はコロナのため、授業は全てオンラインでしたが、後半の学期は対面で受けることができました。食文化やタイの文化を学ぶ授業では、アジアと欧米の比較が多くあり、欧米から見たアジアを学んで、アジアの特徴を再発見できました。1コマ3時間で、平日は半日授業があり、毎日授業の予習として論文を読み、課題のレポートも大変でしたが、他の時間は現地のクラブにも参加したり友達と遊んだりしていました。

夏休みにはトビタテの実践活動として、長期インターンを行いました。現地の食品企業で日本の市場調査を行い、流通方法やマーケティングの考え方など授業で

は学べないことを得ることができました。タイ最大の食品展示会にも行き、色々な国のバイヤーの人とお話することもできました。トビタテで留学していなければインターンに挑戦していなかったと思うので、トビタテを通してチャレンジできたことはとても良かったです。

授業や友達と話す時は勿論、インターンでも英語を使っていたので、英語は4技能全て伸ばせました。お店の人と話す時などはタイ語を使っていたので、タイ語の日常会話も練習できました。

住んでいた場所は都会でしたが、旅行では自然溢れる田舎やビーチにも行きました。都会と地方のギャップを自分の目で確かめられるのは、タイの面白いところだと思います。

留学では生活しているだけで予想できない困難に遭遇します。突然道で現地語で話しかけられ理解できず困ったり、口座を開くのに銀行をたらい回しにされたりしました。そのようなトラブルを経験するうちに、解決策を考え、実行に移すスピードが格段に早くなっていき、自分の成長を実感することができました。コロナの影響を

大いに受けましたが、その分かけがえない経験を得ることができたので、今は留学に行く決断をした自分を誇りに思います。



オススメ!

留学のカタチはいろいろ。以下のウェブサイトも情報収集にぜひご活用ください。



留学大図鑑

<https://tobitate.mext.go.jp/zukan/>
1,800人以上の留学体験談やお悩み解決法、アドバイスをキーワードで検索できます。



海外留学支援サイト

<https://ryugaku.jasso.go.jp/>
(独)日本学生支援機構(JASSO)が運営する海外留学を考える方へ向けた情報サイトです。

- 各国・地域の留学情報
- 奨学金やイベントなど最新情報
- 留学準備などお役立ち情報
- 語学留学や大学留学など目的別の留学情報

